

韓国薬学研修報告

3年 16A173

渡邊裕菜

はじめに

2018年8月8日から11日までの4日間、海外研修で韓国を訪れました。東国大学、韓国の大学病院、薬局、韓方市場、そして漢方博物館の見学に行きました。研修期間は東国大学の学生とも交流し、大学に関するだけでなく、日本と韓国の文化についてなどを話すこともできました。(図1)



図1) 東国大学・ソウルキャンパス

東国大学・大学病院

東国大学の薬学部はソウルキャンパスから離れたところにあり、Biomed Campus にありました。その敷地内に東国大学の大学病院がありました。(図2)



図2) 東国大学・大学病院



図3) 病院のエントランスにて集合写真

大学病院では薬剤部や鍼灸の先生、韓方を調合する部屋ならびに生薬の保管をしている部屋を見学させていただきました。また薬剤師の方から多くの話を聞くことができました。

まず、病院に入って、目に付いたものの一つの機械についてです。日本では住民票を取るには原則として本籍地の市役所に行かなければならない上に、手数料が取られますが、東国大学の病院内には手数料なしで住民票を出せる機械がありました。写真に映っているのは李先生です。(図4)



図4) 住民票を出せる機械

薬剤部

薬剤部で、よく使われるものは部屋の入り口近くに一つの機械にまとめて入れられていました。また劇薬などのうち使用頻度の高いものはその機械の近くの金庫に保管されていました。その他のあ

まり使われていないものの部屋の奥の金庫に保管され、冷蔵保存しなければならない薬剤は冷蔵庫に入れられていて、その冷蔵庫は一定の温度から冷蔵庫内の温度がずれると警音で知らせてくれるそうです。麻酔を調剤する部屋があり、そこは調剤する人が薬剤に暴露されないように送風で調整されていました。案内してくださった薬剤師の方に大変なことを聞くと、病院薬剤師の数が足りないということでした。



薬剤部



警音の鳴る冷蔵庫



金庫



鍼灸

鍼灸の部屋がありました。(図5)ここでは鍼治療が行われていました。最近の鍼治療では針の中に薬(韓方)を入れて行う方法もあるそうです。その針はニードルくらい太いそうです。また、置き針について聞いたところ、置き針は禁煙や禁酒、食欲抑制などに使われ、およそ2日間置いておくそうです。



図5) 鍼治療

韓方

最上階に韓方を調剤する部屋がありました。その部屋の入り口には靴の裏のゴミを取る粘着シートが床に置かれていました。その上を踏んだ後、靴カバーを履いて部屋に入りました。(図6)たくさんのツボや、機械が置かれていました。

部屋の奥に生薬の保管されている場所があり、貴重なものや毒性の強いものなどは金庫に保管されています。



図6) 靴カバー

病院内を案内してくださった先生

交流

東国大学の学生との交流は見学だけでなく、プログラムの間にある、休憩時間にたくさん会話をしたり、夜ご飯の席で食事を共にしたりと、多くの機会がありました。日本とは学校のシステムも異なるので、年上の人ばかりでしたが、とても親切にしてくれました。

韓国の学生が日本に来てくれて、日本での交流プログラムもとても充実したものでした。(図7)

感想

海外の大学を見ることができただけでなく、多くの場所を見学させてもらうことができ、本当に貴重な経験になりました。また、英語の必要性を改めて痛感しました。



図7) 日本での交流